

総まとめ

改めて各テーマを振り返り、テーマごとの重要な点について再確認します。研修会で示した各種データの最新版を提示し、近年の動向についてご紹介します。

- ① 法律と制度
- ② 運転補助装置と運転操作
- ③ 自動車社会と共生社会

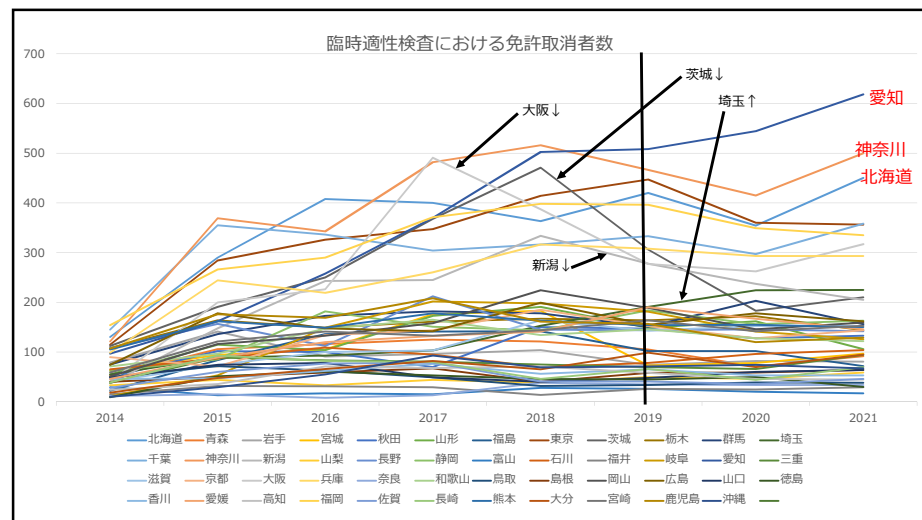
法律と制度③

- 免許センターの裁量に期待しよう
安全運転相談では、当事者の様々な事情を聴取した上で、臨時適性検査の実施や、診断書提出の有無について判断しています。
- 免許の更新可否と安全運転の可否。「手段と目的」
運転能力の評価＝ペーパードライバーの評価
- 免許取り消しだけではない。医療が出来ること。
 1. 運転を控えるという助言の重要性
 2. 最悪の事態を避けるための任意通報制度
 3. 指定医の活用
- 110番アプリ

	事前 登録者数	通報 受理件数
2019年4月 ～2019年末	1,554	115
2020 年末	5,563	1,178
2021 年末	11,854	2,349

法律と制度④

	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	令和2年	令和3年
認知症	39	70	77	81	118	94	91	88
睡眠障害	0	0	12	7	68	105	56	51
てんかん	15	13	18	14	19	16	12	18
統合失調症	32	7	8	7	11	6	9	9
その他	33	44	29	37	39	45	43	26
合計	119	134	144	146	255	266	211	192



法律と制度⑥

人口や年齢構成・死に事故件数・交通環境等の様々な社会的要素も関係しているのではないかと、「死傷者の発生と利便性のバランス」

臨時適性検査による免許取消件数 上位10都道府県(2019~21年)

順位	2019	2020	2021
1位	愛知県508	北海道638	愛知県618
2位	神奈川県466	愛知県544	神奈川県500
3位	東京都447	神奈川県415	北海道450
4位	北海道420	東京都360	千葉県358
5位	福岡県396	福岡県349	東京都356
6位	千葉県333	千葉県297	福岡県335
7位	兵庫県308	兵庫県293	大阪府317
8位	茨城県306	大阪府262	兵庫県293
9位	新潟県278	新潟県237	埼玉県225
10位	大阪府277	埼玉県224	茨城県210

北海道538万人/東京都1352万人/神奈川県913万人/大阪府884万人/愛知県748万件/埼玉県727万人/千葉県622万人/兵庫県553万人(2015年国勢調査)

臨時適性検査による免許取消件数 下位10都道府県(2019~21年)

順位	2019	2020	2021
39位	島根県58	香川県53	島根県64
39位	高知県58	徳島県50	山梨県59
41位	山梨県50	高知県46	香川県53
42位	山口県48	山梨県46	佐賀県46
43位	徳島県45	長崎県44	高知県45
44位	佐賀県41	鳥取県39	鳥取県38
44位	奈良県35	佐賀県36	奈良県34
45位	鳥取県34	奈良県34	徳島県30
47位	富山県26	福井県25	福井県29
47位	福井県26	富山県20	富山県17

法律と制度⑦

- 一定の病気等に該当することを理由とする運転免許の行政処分状況等

	平成29年	平成30年	平成31 令和元年	令和2年	令和3年
統合失調症	1,603	1,682	1,665	1,573	1,616
てんかん	3,626	3,891	3,855	3,960	4,265
再発性の失神	1,207	773	771	773	792
認知症	3,085	3,424	2,788	2,205	2,301
その他の病気	3,383	3,481	3,954	3,829	3,989
計(件数)	12,904	13,251	13,033	12,340	12,963

- 安全運転相談件数

	平成29年	平成30年	平成31 令和元年	令和2年	令和3年
件数	100,174	115,245	117,425	123,490	136,593

法律と制度⑧

◆デジタル関連法案と運転免許。

- 個人情報の直接収集の撤廃
- 要配慮個人情報に対する制限の撤廃

- 人権
- 思想信条
- 性差
- 犯罪歴
- 心身機能の障害に関する記録
- 健康診断の検査結果
- 保健指導・診療・調剤に関する記録

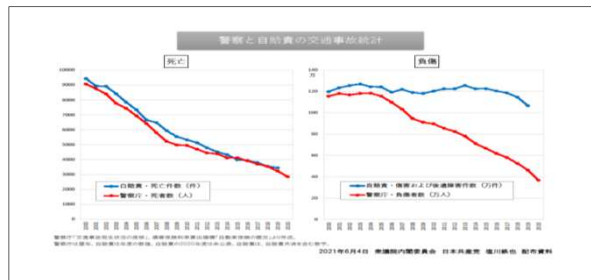
◆認知症基本法

2022年第210回臨時国会
(廃案)

◆人身事故件数の改ざん疑惑
2022年、警察庁より「問題なし」との回答

◆障害者総合支援法改正案
2022年11月1日時点 衆議院
で審議中

- ～想定される変更～
警察や免許センターが事前に収集できる個人情報が増え、これまでの自己申告が不要、または虚偽申告の発覚が増加する。
★5項目のチェック表の廃止
★適正相談の増加とそれに伴う簡略化(裁量の減少)
★免許証とマイナンバーの連携により、エンジンが掛からないなど新しい自動車の登場
国連も憂慮しています。(国連勧告のテーマで詳しく説明します)



法律と制度⑨

◆危険運転致死傷罪(第3条病気運転致死傷)

一定の病気等に該当する疾患や障害の影響で自動車事故を起こした際に適用される犯罪

本人の自覚(認識)の有無が適用の条件の一つ。

◆自覚の要件

- 主治医の助言や指示
- 医療職の助言
- 家族の助言
- 過去の事故

◆医療機関の役割

- 正しい助言

一定の病気にかかる危険運転致死傷罪の類型別適用件数

*下記以外の疾患(脳血管系・心臓血管系・医薬品・認知症については非公開)

	H29			H30			R1			R2			R3		
	致傷	致死	計	致傷	致死	計	致傷	致死	計	致傷	致死	計	致傷	致死	計
統合失調症	4	0	4	4	0	4	0	1	1	1	0	1	2	0	2
てんかん	40	2	42	42	3	45	37	3	40	45	3	48	41	4	45
再発性の失神	4	1	5	0	0	0	1	0	1	2	0	2	1	0	1
低血糖	17	1	18	17	0	17	19	0	19	21	0	21	21	0	21
躁うつ病	3	0	3	1	1	2	3	0	3	0	0	0	2	0	2
睡眠障害	5	2	7	4	1	5	2	0	2	9	1	10	4	1	5

法律と制度⑪

- 一定の病気等に関する質問票・報告書の虚偽記載に関する送致状況

			R3	R2	R1	H30	H29
質問票の虚偽記載（送致件数）	対象病名	統合失調症	0	0	0	1	0
		てんかん	19	16	14	24	13
		再発性失神	0	0	1	0	0
		低血糖症	3	2	1	2	2
		そううつ病	0	0	0	0	0
		睡眠障害	0	1	0	0	0
		認知症	0	0	0	0	0
		アルコール・麻薬中毒	0	1	0	0	0
		その他	0	0	0	0	2
		合計	22	20	16	28	17
報告書の虚偽記載（送致件数）	対象病名	統合失調症	0	0	0	0	0
		てんかん	1	3	3	0	0
		再発性失神	0	0	0	0	0
		低血糖症	0	0	0	0	0
		そううつ病	0	0	0	0	0
		睡眠障害	0	0	0	0	0
		認知症	0	1	0	0	0
		アルコール・麻薬中毒	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		合計	1	4	3	0	0

法律と制度⑫

- 運転技能検査の実施状況R4.5.13~6.30

管区	府県等	受検者数	合格者数	合格率
北海道	札幌	64	63	98.4
	函館	16	14	87.5
	旭川	16	16	100
	釧路	25	25	100
	北見	5	5	100
	計	126	123	97.6
東北	青森	36	34	94.4
	岩手	13	12	92.3
	宮城	36	36	100
	秋田	30	28	93.3
	山形	33	31	93.9
	福島	30	30	100
	警視庁	78	71	91.0
	茨城	81	73	90.1
関東	栃木	33	31	93.9
	群馬	1	1	100
	埼玉	12	12	100
関東	千葉	219	209	95.4
	神奈川	701	557	79.5
	新潟	23	22	95.7
	山梨	8	8	100
	長野	52	46	88.5
	静岡	212	190	89.6
	富山	45	45	100
	石川	107	100	93.5
	福井	35	29	82.9
	岐阜	106	99	93.4
中部	愛知	1094	695	63.5
	三重	54	49	90.7
	滋賀	53	51	96.2
	京都	65	59	90.8
	大阪	356	340	95.5
近畿	兵庫	320	298	93.1
	奈良	129	124	96.1
中国四国	和歌山	52	48	92.3
	鳥取	4	4	100
	島根	1	1	100
	岡山	85	83	97.6
	広島	106	96	90.6
	山口	81	70	86.4
	徳島	13	12	92.3
	香川	34	33	97.1
	愛媛	40	39	97.5
	高知	49	47	95.9
	福岡	115	109	94.8
	佐賀	20	16	80.0
	長崎	42	32	76.2
	熊本	54	53	98.1
近畿	大分	47	37	78.7
	宮崎	100	92	92.0
	鹿児島	39	38	97.4
	沖縄	12	12	100
	計	4,982	4,225	84.8

運転補助装置と運転操作

- 総論
- 迅速で的確な運転操作について、身体的要素の重要性についての議論（作業という視点）はわが国でほとんど行われていない。本来、道具を上手に利用するとは、ハード・ソフトの両面からのアプローチが重要なことは自明であり、今後は自動車運転に限らない様々な分野において、「道具の使い方」についての議論が高まることを期待します。その役割を担えるのがリハビリテーション分野で活躍している医療職の皆さんです。
 - 安全な運転とは、ドライバー個人の運転技量と共に「他者（他車）との関係性」（自動車社会）という自覚が不可欠である。社会性の欠如は、安全運転にとって致命的な悪影響を及ぼす。
 - 自覚的な運転が出来るようになると、運転席からの景色が今までとは違って見えてきます。周囲の運転者がいかに何も考えず情性で走行しているかが見え、そのことが我が国の自動車社会の実態や運転の認知能力について、あなた自身がより深く検討するための重要な知見になります。
 - 自らが安全な運転について自覚し、それを常に実践し、検討を続けることは支援者にとって重要な条件の一つです。
 - 運転が上手くなろう。運転が上手いとは「自覚」出来る運転を実践できる人です。

◆自助具としての運転補助装置

ドアを開ける→座席に座る→エンジンをかける→発進→停止→ドアを開ける→車から降りる→ドアを閉める 自動車を運転するために行う様々な作業を円滑に行うために必要な道具的改造。

◆保証制度

運転補助装置の保証制度は、メーカー、代理店によってさまざま。出来れば自動車メーカー純正の補助装置付き車両を購入しよう。

◆買うならサボカーSワイド



「社会」という共通性

- 自動車社会を道路という公共財を共有し、自動車が移動する空間と定義した時、あなたがハンドルを握って道路を運転するとき、その周りで同じように走っているのは何なのか？
- 私たちは自動車という物体の中に隠れて、外から見えないように自動車の乗りますが、もし自動車が透明な乗り物だったとしたら、あなたはもっと慎重に運転するようになるのではないのでしょうか？
- このように、自動車交通という文化の実態は、人間が徒歩で歩道を歩くことと何の違ひもありません。あなたの前や横を走っているのは、自動車（他車）ではなく人間（他者）なのです。
- 自動車という物体？ それとも人間？ 例えばあなたが自動車事故を起こしたときどう言いますか？ 「自動車とぶつかった」？ 「人間とぶつかった」？
- 共生社会を共に暮らす社会と定義した時、あなたにとって「社会」とは何ですか？
- 自動車社会のテーマも共生社会のテーマも共通するのは「社会」。自動車免許も他者への支援も社会についての議論の一部です。あなたにとって社会とは何ですか？ この問いへの答えに正解はありません。一人一人が自由な思考と自由な選択に基づいて結論を出し、そしてその結論は常に暫定的なものでなければなりません。なぜなら、新たな知識と経験を積み重ねてゆくことで、答えは変わってゆくものだからです。
- 私は、このような意味で皆さんにこれらのテーマのお話をさせて頂きました。

高度な社会性を身に付けることが大切です。まずは、自身とは違う場所で生きている人たちと知り合いになりましょう。

能力主義と差別

- ほとんどの差別を正当化する共通の根拠が「人間の能力についての論理」である
 - 人種（黒人は能力が低い）対（白人は能力が高い）
 - 民族（中国人や韓国人は程度が低い） ・野蛮人・サル・文明国と非文明国
 - ジェンダー（女性は男性より能力が低い・同性愛は生産性がない・女性は子供産む機械）対（男性はえらい）
 - 犯罪者（人間であることの否定・鬼畜・野蛮人）対（私は良心的である）
 - 優性思想（血の種類によって人間を評価する・ユダヤ人の虐殺・ビルマ虐殺）対（日本民族の優位性） ・血液型占い
 - 障害者（役立たず・社会の重荷）対（私は役に立っている）
 - パワハラ（仕事が出来ない・効率が悪い）対（仕事出来る人・私はあなたよりも仕事出来る）

日本特有の優性思想

障害者差別に反対しながら、パワハラを容認する、ということは理にかなっているか？

あなたも私も、差別主義者という側面を持っている、という自覚がスタート地点

- 「共感」という感情の副作用
差別を克服する方法としての「共感」には、根本的に「共感できる人」と「共感できない人」を分けてしまうという、決定的な欠点を持っている。共感だけでは差別を克服できません。
- 感情の先にある理性
人権や自由、差別などは、概念であり、感情だけでは理解できない「架空」の考え方です。架空のことを具体的なイメージとして思い描く想像力（理性）が大切です。

人間が架空のイメージを実体として認識している事例
（貨幣・会社・信仰）

児童労働

